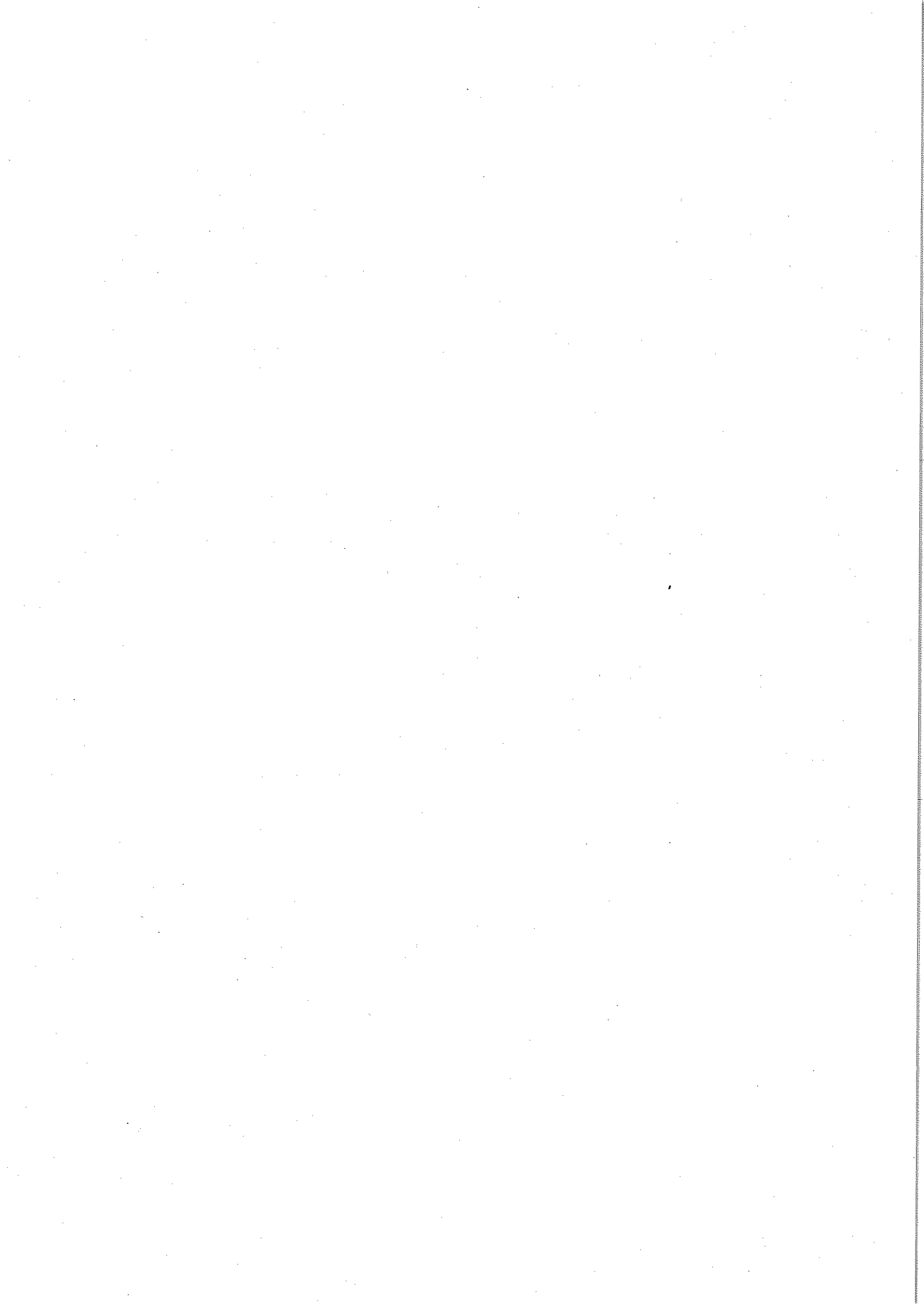


平成30年度

教育委員会の事務の点検・評価結果報告書

平成31年3月

三島村教育委員会



## I 平成30年度教育委員会の事務の点検及び評価の実施について

### 1 根拠

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）」

第27条 教育委員会は、毎年その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 目的

教育行政の運営の中において、施策や事業の、「Plan（計画）」→「Do（実行）」→「Check（点検・評価）」→「Action（改善）」のマネジメントサイクルを確立するとともに、一連の情報を分かりやすい形で村民に公表することにより、次の事項の実現を図る。

- (1) 行政の説明責任の徹底
- (2) 効率的で質の高い行政の実現
- (3) 成果重視の行政の実現

### 3 対象施策・事業

#### 5 施策・11事業

本村の教育行政推進上の重要課題として、1学校教育の充実、2社会教育の充実、3生涯学習の充実、4スポーツ活動の充実、5文化財の保護・活用、6その他の6つのが挙げられる。これらの課題に係る主な施策・事業を対象とした。

### 4 点検・評価の日程

平成31年3月下旬	評価の実施
3月下旬	評価委員への意見の照会
6月上旬	教育委員への説明 教育委員会で議決
6月中旬	議会へ報告、評価結果の公表

※評価委員：教育に関し学識経験を有する者（地教行法第27条第2項）

氏名	役職等	本村との関わり
藤田 芳昭	鹿児島市立八幡小学校校長 鹿児島県小学校校長会会長	元鹿児島教育事務所長
山本 朋弘	鹿児島大学 法文教育学域教育学系 教育学研究科 学校教育実践高度化専攻 准教授	鹿児島大学教職大学院「重点領域 実践実習 I (H29)」担当教官 遠隔教育システム実証研究事業 三島村実証研究委員会委員

## II 事務の点検・評価の内容及び結果について

### 1 点検・評価の対象とする施策及び事業について

学校教育において、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成は学校教育行政の推進上重要な課題であること、また地域一体型の本村ならではの学校存続を考えると、地域全体で子供を守り育てる環境づくりは必須であること、さらには村民の心が一つになる機会や各地区にある文化財の保存・活用は本村の振興にとっても重要であることをふまえ、次の5施策・11事業を点検・評価の対象とした。

#### 1 学校教育の充実

##### ◎学力向上に向けた教育の充実

###### 【事業1】 小学校集団宿泊学習補助事業

普段できない多人数での交流活動を通して互いの友情を深め合い、炊飯活動などの野外活動を通して協力し合う事や最後まで頑張り抜く大切さを知り今後の学校生活で生かすことが出来るようにする。

###### 【事業2】 中学校合同職場体験学習補助事業

島内では体験できない事業所における体験学習により、中学卒業後の島外での生活の適応を図る。

###### 【事業3】 ALT配置事業

25年にわたりジャンベの村として多くの外国人と交流を続けてきた本村は、今後さらにグローバルな人材を育成することが重要である。国際感覚を養い広く海外の人達とコミュニケーションを取れる人材を育成するために外国語（英語）指導助手を配置しその目的に資する。

###### 【施策1】 テレビ会議システムの利活用推進

県総合教育センターの「テレビ会議システム@ce ネット（つらネット）」を活用し、地区研究協力校、「学びの組織活性化」推進プロジェクトモデル校として村内各校との連携を図る。鹿大教職大学院運営協議会実習連携プロジェクトで配備された機器を用い、学校教育・社会教育の充実を図る。

合せて村の学校間の情報共有を促進するとともに、校内研修の活性化を図り、村内各小中学校の授業研究など教職員の授業力・指導力向上に資する。

##### ◎心の教育の充実

###### 【事業4】 学校図書館整備推進事業

「学校図書館関係の地方財政措置について(通知)」に基づき次の3項目について整備する。

- (1) 学校図書館への新聞配備
- (2) 学校図書館担当職員（学校司書の派遣）
- (3) 学校図書館図書標準の達成

###### 【事業5】 人権教育推進事業

「三島村第5回いじめ根絶標語コンクール」を実施することにより、児童生徒の人権意識を高め、一層のいじめの未然防止、根絶を図る。また、入賞作品を村広報紙や各種プログラムに掲載することで継続して村民の人権意識の啓発に努める。

## ◎地域に根ざした特色ある学校の実現

### 【事業6】 しおかぜ留学推進事業

村内各小中学校に入学または転入学を希望する児童生徒に対し、各校区内の受入れ保護者（里親）の協力を得て受け入れを実施し、豊かな自然の中で相互の教育効果の向上を図るとともに学校の活性化と教育の振興充実を図る。

### 【事業7】 みしま学校応援団推進事業

子どもたちの健やかな成長は村民共通の願いである。学校は地域に根ざし地域住民と一体的に運営されているが、学校の教育活動を支援する地域住民が学校や児童生徒らと接する機会を多くすることにより、各地区の教育力及び子どもを守り育てる環境のさらなる充実・向上を期する。地区を超えての学校支援活動も視野に入れる。

### 【事業8】 みしまっ子探検隊実施事業

手つかずの大自然に囲まれて生活している本村の児童生徒に、屋外活動を通して学びの楽しさに触れさせるとともに、村の新しい芸能であるジャンベの技術力向上を図る。

## 2 社会教育の充実

### ◎青少年健全育成の推進

#### 【事業9】 成人式・祝賀会の実施

村立中学校を卒業した生徒のみならず、村内の小中学校に在籍していた児童・生徒を対象に成人式「新成人を励ます会」、祝賀会「村の新成人、はじめの一步！」を実施し成人を祝う。

## 3 生涯学習の充実

### ◎学習活動の充実

#### 【事業10】 放課後子ども教室推進事業

郷土に誇りを持ち、心身ともにたくましい子どもの育成のために、郷土に学び育む青少年運動として、各校区に「地域塾」を設置し、学習活動・野外活動・交流活動・創作活動を実施する。

## 4 スポーツ活動の充実

### ◎村民の健康増進

#### 【施策2】 第14回三島村民スポレク大会

村民総参加のスポーツ・レクリエーションを通して、村民の連帯と協調のもとに健康で明るい生き生きとした人づくり、地域づくりに資する。

## 5 文化財の保護・活用

### ◎文化財等保護基盤の整備・充実

#### 【施策3】 文化財の保護・管理

村民の宝である各地区の文化財保護管理。天然記念物の保護管理を適切に実施する。

## 6 その他

### ◎三島の教育の充実

#### 【事業11】 教育現場体験の実施

大学との提携により三つの島を学外キャンパスとして位置づけ研修の場として活用することで、児童・生徒・学校職員との交流を深めるとともに、三島村教育活動活性化のための方策の提言を期待する。また離島赴任が必須の本県教員を目指す学生に、離島教育の重要性理解させるとともに、三島村をはじめとする離島赴任の不安をとりのぞく。

#### ◎学校環境の充実

##### 【施策4】 トイレ改修

地域に開かれた学校を目指している本村の各校にとって、多くの学校行事に地域の方々が気持ちよく参加していただく環境を整備することは急務であり、高齢化率の高い本村にあっては高齢者への配慮が不可欠である。その目的に資するため和式トイレを洋式化し、気兼ねなく訪れてもらえる学校を目指すものである。

##### 【施策5】 三島村立小中学校教育環境施設整備

各校に必要な遊具・屋外競技施設の他、学校教育に必要な設備等を整備することで心身の発育にとって貴重な時期にある子どもの健全な成長に資するとともに、安心安全な学校環境づくりを目指す。

### 2 評価指標の設定

前記5施策・11事業に共通する評価指標として、次のア～オの5点を設定した。

- ア 計画（企画・立案）に無理はなかったか（ないか）。
- イ 初期のねらいは達成することができたか（されつつあるか）。
- ウ 円滑に実施することができたか（されつつあるか）。
- エ 学校・関係団体・住民等に受け入れられたか（ているか）。
- オ 次年度以降、継続実施する必要があるか。

### 3 評価指標の設定

前記の評価指標ごとに次の基準で評点を付与することとした。

- 「4」＝そう思う。
- 「3」＝どちらかというと思う。
- 「2」＝どちらかというと思わない。
- 「1」＝そう思わない。

#### 4 施策・事業別点検・評価結果

	施策・事業	事業等別・指標別の評価平均値					事業等別総評点平均値	備考
		ア 計画の 妥当性	イ ねらいの 達成度合い	ウ 実施の 円滑性	エ 事業等の 受入れ度合い	オ 継続の 必要性		
事業1	小学校集団宿泊学習補助事業	3.7	3.7	3.8	3.7	3.8	18.7 / 20.0	
事業2	中学校合同職場体験学習補助事業	3.7	3.7	3.6	3.8	3.9	18.7 / 20.0	
事業3	ALT配置事業	3.7	3.8	3.8	3.9	3.9	19.1 / 20.0	
施策1	テレビ会議システムの利活用促進	3.4	3.5	3.4	3.7	3.9	17.9 / 20.0	
事業4	学校図書館整備推進事業	3.7	3.5	3.7	3.7	3.8	18.3 / 20.0	
事業5	人権教育推進事業	3.6	3.6	3.7	3.6	3.7	18.1 / 20.0	
事業6	しおかぜ留学推進事業	3.6	3.4	3.4	3.5	3.9	17.9 / 20.0	
事業7	みしま学校応援団推進事業	3.4	3.3	3.3	3.4	3.8	17.2 / 20.0	
事業8	みしまっ子探検隊実施事業	3.4	3.4	3.4	3.4	3.6	17.3 / 20.0	
事業9	成人式・祝賀会の実施	3.6	3.6	3.7	3.7	3.9	18.4 / 20.0	
事業10	放課後子ども教室推進事業	3.5	3.6	3.5	3.7	3.8	18.1 / 20.0	
施策2	第14回三島村民スポレク大会	3.8	3.8	3.7	3.8	3.9	19.0 / 20.0	
施策3	文化財の保護・管理	3.5	3.6	3.6	3.6	3.8	18.1 / 20.0	
事業11	教育現場体験の実施	3.6	3.7	3.6	3.7	3.7	18.3 / 20.0	
施策4	トイレ改修	3.7	3.8	3.8	3.9	3.9	19.1 / 20.0	
施策5	三島村立小中学校教育環境施設整備	3.7	3.6	3.7	3.8	3.8	18.6 / 20.0	

## 5 特記事項（本年度の反省や次年度へ向けた課題など、自由記述されたもの）

### (1) 学校教育に関すること

- 1 学校応援団募集は平成 25 年度に声をかけたままなので、再度募集した方がいいのではないかと思います。(新しく定住した方もいるので…)
- 2 学校応援団については、地域の方々に協力していただいているが、地域では限度がある。島外からの派遣が可能な人材や支援内容の充実を図る手立てを構築して欲しい。
- 3 8月からALTの先生も2名になるのでぜひ保育園でも交流の機会を作ってほしいです。
- 4 ALTの積極的な活用・連携
- 5 TV会議システムを活用することでALTとの英語教育等の学力向上や授業内での話し合いの充実と深化を推進していくようにする。
- 6 TV会議システムの積極的な活用
  
- 7 教職員の校内研修充実にも活用する。
- 8 客観的な評価を知る意味でも、対外的な模試試験を計画してもらいたい。早めの対応をするべきである。中学校は、4月当初、標準学力検査があるが、それについて分析・対応するのは夏休み以降である。早めの対応と学年度末に行い、その成果を認識したい。
- 9 英語力の向上、英検の補助をおこなえないか。
- 10 漢字力の向上、漢検の補助をおこなえないか。
- 11 しおかぜ留学生は、もっと安定した受入方法はないでしょうか。
- 12 しおかぜ留学制度のアピールと、早期の児童生徒の確保
- 13 義務教育学校に向けた計画的な取組
- 14 ジオ科を積極的に推進したい。
- 15 地球科の積極的な取組
- 16 子ども劇団の派遣など、演劇・文化活動に親しむ機会を広げたいが、予算がなく、学校単独で開催できない。村が主催し、このような事業を各地区で計画的に実施することはできないだろうか。
- 17 義務教育学校が待ち遠しい。
- 18 年間計画で、検診の予備日を設定し、できるだけ早く実施してほしい。

### (2) 学校の施設・設備に関すること

- 1 テニスコート整備は、校庭の整備につながり大変ありがたかった。
- 2 図書室は、小学校の低学年向きになっていないので、環境づくりに努めたい。机、いすをどうにかできないか。パイプ椅子では、学習、読書ができない。
- 3 学校車庫のブロックが歪み、亀裂がある。また、台風で車庫の扉がないので、建て替えてほしい(大里小中)
- 4 台風で正門前の学校看板がなくなっているため、建て替えて欲しい(大里小中)
- 5 学校内の通路で一部コンクリートが陥没しており補修工事をお願いしたい(大里小中)
- 6 グラウンドの水はけが悪く、水たまりがしやすい。幅3m程度のグラウンドを周回できる走路を作ってもらふこと(アンカー工事)をお願いできないか。(大里小中)
- 7 現在使用している公務用パソコンは2011年に導入したもののようであり、パソコンの



切り替え時期に来ているのではないか。1つ1つのデータの容量が大きくなっており、パソコンが応答なしで数分フリーズする頻度が多くなっている。ハードディスク等のクラッシュも懸念される。(大里小中)

- 8 防護フェンスとして、校庭の周囲の必要な箇所にネットを張ってもらっているが、一部破損しており、整備をお願いしたい。(大里小中)
- 9 校舎裏敷地の排水が悪く、雨の多い時期は田んぼ状態になる。ぶとや蚊の発生原因になると考えられるため、整備をお願いしたい。(大里小中)
- 10 給食室までの屋根が欲しい。雨の日は濡れてしまう。(大里小中)
- 11 教職員住宅は住宅の状態に対して、住宅費が高いと感じている。教職員住宅の改善をお願いしたい。風呂や台所などの水回りは衛生面できれいにしておかなければならない箇所である。洗濯機の置き場に不自由している所もある。また、浴槽に浸かっている職員もいる。
- 12 熱中症対策として、教室エアコンの設置をお願いしたい。
- 13 社会体育施設として黒島に大里小体育館ができたが、幅広く活用するために、体育館に卓球台や体育館の外に滑り台などの遊具施設が欲しい。体育館の裏は降雨時の排水施設が悪く、雨水がはけない。
- 14 大里健康広場入り口から体育館まで舗装道路を整備して欲しい。
- 15 大里健康広場がいつも使えるためには、頻繁な除草作業が必要である。人力では大変な労力がかかるため、大型の芝刈り機を購入していただきたい。
- 16 ジオパークやみしまっ子探検隊等は、生涯学習の視点からも全ての村民の学びの場として機能させたい。
- 17 緊急を要する案件について、村教委の対応が大変早くて、事故防止につながっている。

### (3) 生涯学習に関すること

- 1 みしまっ子探検隊
  - ・子どもたちの体力の差があり、どのレベルに合わせたらよいか難しかった。
  - ・大人が準備や片づけをする機会が多かったため、もっと子供たちにしてもらえばよかった。
  - ・準備や段取りが上手く出来ていないところが多く迷惑をかけたこともあったが、子ども会育成会長はじめ、子ども会の育成役員、地域、指導者、多くの方々の協力をいただき大きな怪我もなく終了することが出来た。
- 2 スポレク大会
  - ・各地区テントの距離が遠かったため、他の地区との交流がしづらかった。
  - ・じゃんけん大会のルールがあいまいで参加者を混乱させることになった。
  - ・閉会式後の写真撮影を忘れていた。
  - ・開催地区の方々、体育指導委員、役場職員の方々の協力があり無事終了できた。
- 3 三島村のジオパークとして、楽しんで調査・研究できるような工夫がほしい。フィールドワークをしながら楽しめる工夫を!(ポイントがもらえるetc) そしたら観光客も楽しめるのではないか。
- 4 放課後子ども教室は、学校職員のボランティアで活動を維持している状況である。学校職員の業務改善として、時間外勤務の削減の提言がなされており、地域指導者の確

保など、その対策を考えることが必要ではないか。その一方、今年度は活動謝金が大  
幅に削減された。また、活動の充実を図るために、派遣講師活用の体制があればあり  
がたい。

#### (4) その他

- 1 しおかぜの子どもたちを増やすことにもっと力を入れてほしい。
- 2 若い保護者が増えてきています。“子育て”に関する講話とかしていただけると嬉しい  
です。
- 3 留学生の受け入れは、留学に対する本人・保護者のしっかりした目的がなければうま  
くいかないという事を改めて感じた。また、里親が学習や研修をする機会があればい  
いと思う。
- 4 大里地区では、水道本管の漏水が度々あり、塩素濃度が基準値を下回るが多かっ  
た。根本的な改修が必要でないだろうか。
- 5 働き方改革を積極的に推進したい。
- 6 HPのリニューアルでは、村役場に大変お世話になった。今後も、情報発信に協力し  
てもらえると有り難い。
- 7 成人式の参加者（新成人）が少ないと感じました。留学生が多く、遠方からの参加が  
金銭面で負担になっているのだと思います。旅費の一部を補助することは検討できな  
いでしょうか。